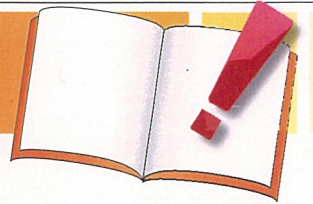


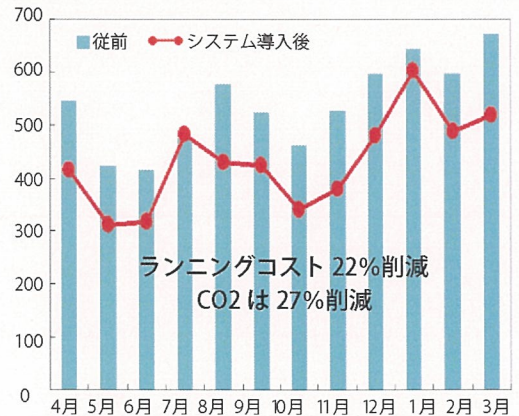
京都熱学株式会社

熱の制御に特化・総合化、顧客の大幅な省エネと CO2 削減を実現



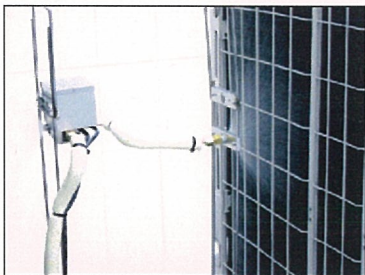
！ 熱利用を中心にエネルギー対策の総合提案

- ▶ 大規模ビルや工場などの施設に対し、空調、給湯を中心にしたエネルギー対策を提案し、設備やシステムを導入、その後のメンテナンスも実施。高性能設備の採用、補助金の活用などで、5～6年以内での投資回収を可能とし、顧客の経費合理化ニーズを充足。
- ▶ 多数の設備を集中管理し、最適な運転制御を行い、快適環境をつくる独自システム「京熱インテリジェントサポートシステム」を開発。東京六本木の大規模再開発など、全国での多数の導入実績。
- ▶ 大手メーカーの製品を用いたシステム提案を行いながらも、いっぽうで高性能ヒートポンプシステム、水蒸発加湿機、水蒸発涼風機などのオリジナル製品も開発。



ホテル A でのランニングコストの変化：ガスボイラーからヒートポンプ給湯器、貯湯槽への変更

！ 知恵の使いどころ：熱学する姿勢



独自開発した室外冷却装置：室外の熱交換器に噴霧水を吹きかけクールダウンさせ、20%弱の省エネを実現。

- ▶ 改善余地が多い熱利用分野にいち早く着目し、熱利用の評価や計測、制御、システム開発に注力し、豊富なノウハウと知見を蓄積。
- ▶ 自社の純正システムを推奨する大手企業とは異なり、多様なメーカーの製品を用いてシステムを構成し、顧客ニーズに応じた柔軟なシステムを提案。機械設備だけでなく、断熱サッシュにいたるまで、きめ細やかな対応を実施。
- ▶ 現場での研究、商品開発力。「熱学」という姿勢で、通常の設計業務や施行工事のなかで新機軸の予兆をつかみ、新たなシステムや製品へと具体化。

！ 私たちのチャレンジ

- ▶ 省エネ関連市場の将来性がさらに注目され、参入企業の増加にともない、市場での競争激化は必至。小回りのきく企業規模を生かしての、コスト競争力の強化。
- ▶ 太陽熱利用での新システムの研究開発。屋内への日射は、冬期は熱として活用できるものの、夏期は遮蔽することが望ましく、この相反する側面の解消に大きな商機あり。

● 会社概要

代表者 平松 敏啓
所在地 京都市右京区西院上花田町 6-8
事業概要 空調機器の販売及び設備工事、工業用冷凍機器・自動制御など
電話番号 075-321-0821 URL <http://www.kyoto.zaq.ne.jp/kyonetsu/>